

HAPPY NEW YEAR
2016

旧年中は大変お世話になりました。
本年もよろしくお願いいたします。



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2016年
1月号
2016.1.23発行
第171号



——2016年新年にあたって——

皆さん、いいお正月を迎えられましたか？ しばらく（と言っても2週間だけですが）オリーブから離れるとちょっと一息つける感じがしたのではないのでしょうか。新しい年、また気持ちを新たにして日本語指導に取り組んでくださることを期待しています。今年もよろしくお願いいたします。
代表 恩地美和

皆様、新年あけましておめでとうございます。
昨年は通常の教室以外に、テーマ別の日曜授業、防災、ごみ分別、交通安全など皆さんの生活に密着した教室や講座を実施しました。また秋の遠足ではバス1台が満員になるほどの久しぶりに大勢の参加者がありにぎわいました。新年会やお花見の小行事も行い、振り返ると非常に活発的な1年だったと思います。

さて今年は干支のサルのごとくフットワークも軽く、引き続きオリーブの活動を着実にまた楽しく行いたいと考えます。教室に行けば先生に会える、仲間に会える、と思ってもらえる場にしていきましょう。

本年も皆さんのご協力よろしくお願いいたします。

最後に生徒さんと会員の皆様にとって今年が良い年となりますように。

会長 豊村信良



中村さんの季節折々 1月（睦月）



いつもより髪を刈り上げて初もうで ケンジ

みなさん、あけましておめでとうございます。今年最初は575の「俳句」でスタートです。日本人（特に男性）は大みそか（12/31）までに散髪をして髪を短くして正月に寺や神社で初もうで（おまいり）に行く人が多いです。

皆さんの国ではどうでしょうか？ 今年もよろしくお願いいたします。（中村健治）

中川先生のへんてこ日本語

66

無理

寒風の吹き荒れる冷たい日、スーパーから出てきた女子高生から「無理！」と聞こえてきた。この「無理」の使い方は、私の辞書にはなかったので、『広辞苑』（第6版）の助けを借りた。

『広辞苑』では、

- ① 道理のないこと。理由のないこと（無理を通す）。
- ② 強いて行うこと（無理をして体をこわした）。
- ③ 行いにくいこと（子供には無理だ）。

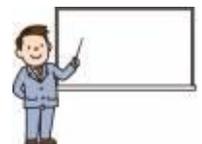
などとあるが、「状況が厳しいこと」なる意味はないようだ。「もうこれ以上は無理だ」とか「無理なお願い」では、「本来不可能」であることを表しているはずだが、どうやら「無理」の困惑度が低下しているようである。

大学で学生に聞いてみると、「宿題めっちゃ多い、無理」「今日これからバイト、無理」などと使うそうである。「無理」と愚痴りながら、けっこうこなしていくところが面白い。つまり「無理」とは「不可能」ではなく、「厳しい」とか「困難だ」という程度まで、意味範囲を拡張したことになる。

そういうえぼうちの娘も、「仕事に疲れた、もう無理！」とか「明日6時起き、無理！」などとよく言っていることを思い出した。「仕事、無理！」と言われて、仕事を辞めるのではないかと、親心から心配していたのだが、「無理が通れば、道理も通る」ようで、さほど気にすることはなさそうである。学生に宿題やレポートを出して、「無理」と言われても、なんら動ぜず、「無理を通す」学生に敬意を表したい。

この「無理」、「無理、無理」といいながら、ケーキをパクパク、こんな心理と同じなのだろうか。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄



今年の抱負



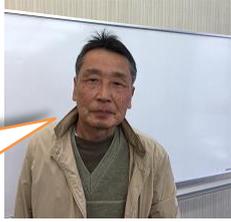
(田中三千彦さん)

今年も生徒さんと一緒に楽しく勉強し、目に見える成果として、複数人の「N1合格者」を出せるように頑張ります。



(豊村信良さん)

光陰矢の如し、年を重ねるにつれ実感します。衰える好奇心と感動する心を忘れないようにすることです。



(中西利夫さん)

いつも楽しく授業をしたいと思います。お互いの情報交換をどんどんしているんな方、国の人と仲良くなりたいです。



(田中一美さん)

昨年に引き続き、能力試験準備を進めながら、漢字をしっかり読めるようになりたいという生徒さんの希望をかなえたいと思います。



(杉山仁さん)

楽しくわかりやすい授業を目指す。



(内田幸夫さん)

ひとりひとりが日本人とのコミュニケーション能力が上達するよう、生徒の皆さんに寄り添っていききたいです。



(杉山美子さん)

新しいことに挑戦！

自分に合った仕事をみつけようと祈っています。



(王俊那さん)

575のHAIKUもいいけど57577のTANKAも特別クラスでみんなにおしえたいな～。



(吉田瑛美さん)

体調管理



(恩地美和さん)

一つ一つの仕事をしっかりする。



(中村健治さん)



今年もオーブ日本語教室でより多くの国の人々と出会い、そしてその人々との文化交流を通じて視野を広げ私の財産としたいと願っています。



(辻恵子さん)



(堀野善康さん)



大学院合格!!!



(福井えりさん)

自分の教え方ノートを作る！



(川瀬祥子さん)

2016年は植物を全面的に使った勉強を再開させて活動の場を広げたいと思います。そんなわけで暫く休みますが、再開しましたらまたよろしくお願ひします。



「BNN担当として、指導者研修講座と、スピーチ大会のお手伝いをしています。皆さんに忘れられないよう、月に一度教室にも顔を出したいなあと思っています。よろしくお願ひします(^.^)



(鈴木弘美さん)

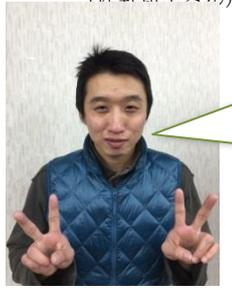
どんなことでも「楽しむ」ことがモットーです。私自身もですが、私の周りの方々も「楽しい」と思っただけの時間を少しでも多く共有できるようにしたいです。





(デボラさん)

料理の勉強をする。



(梁浩文さん)

(佐野玲子さん)

今年の4月から4年生になるため、就職に頑張りたいです。2011年に日本に参りました。この6年間身に着けたことを活かして今年のhopeはいい会社に就職することです。



(梅景由美さん)

人手が足りない時に受付にいます。お会いできるのを楽しみにしています♪



(重松叡子さん)

オリーブ通信ガンバル!!!



(内田栄美さん)



(後藤美子さん)

「今年こそ土曜日の教室に復帰したい!」

無理をしない。



(納谷久美子さん)



まちづくりセンター施設部会による国際文化交流会

12月19日に、国際文化交流会が草津市立まちづくりセンターで開催されました。今年もオリーブの生徒さん4名と外国人教員1名がスピーチし、約40名の参加者が聴いてくださいました。

最初に登場された方は韓国からいらっしゃった金美敬さんです。韓国の日系企業で10年以上働いたから、日本語の発音がうまくて、日本人みたいです。日本のゴミ分別に感心されたなど、日本で生活してきたいろいろな感想を話されました。

2番目はインドからいらっしゃったサティアバディベヘラさんです。日本の食品会社で働き、最初は日本語が全然話せなかったが、同僚と話したり、日本人と勉強したりすることを通して、3年経った現在では、ペラペラ日本語が話せるようになりました。

3番目は中国からいらっしゃったハスさんでした。彼女はモンゴル族なので、馬には乗れるが、自転車には乗れないというような面白い話を聞くことができました。

4番目の文沖さんは、日本に来たばかりの時、日本語がほとんど話せなかったから、人の嫌がるようなアルバイトしかできなかったの、いろいろなつらいことがあったけど、諦めずに努力し、今年無事に語学学校と大学を卒業し、就職もでき、今では、オリーブで日本語を勉強しながら将来に夢を持って働いているそうです。

最後に出場された梁浩文さんはオリーブの外国人教員として、スピーチされました。女性の活躍に関して、日本と中国の違い、子供の育て方の違い、女性の就業状況などについて話されました。

スピーチが終わった後、全員を4つのグループに分けて、日本と外国の文化に関して、お茶を飲み、お菓子を食べながら、交流会を行いました。各国の文化のいいところをお互いに勉強し、お互いに進歩することの大切さを認識することが出来ました。

(レポート 王俊那)



(会場風景)





(茶話会の様子)

(出場者の皆さん)



先月の活動 (12月)

今月の活動 (1月)

日本語教室 12/5 (M), 12, 19 (3回)
 まちセン運営協議会全体会議 12/8 (火) (田中一)
 まちセン施設部会主催国際スピーチ大会 12/19 (土)
 (田中夫妻) (恩地)
 BNN 会議 12/13 (日) (佐野)
 文化庁補助による日本語教室番外編
 12/6 (日) 中村、恩地、内田、堀野、豊村
 12/12 (土) 交通安全教室
 12/13 (日) 杉山、恩地、内田、堀野、豊村
 12/20 (日) 恩地、内田、堀野、豊村

日本語教室 1/9, 16, 23, 30 (4回)
 BNN 会議 1/24 (日) (佐野)
 まちセン施設部会 1/14 (木) (田中一美)
 文化庁補助による日本語教室番外編
 1/10 (日) 杉山、恩地、内田、堀野、豊村
 1/16 (土) お正月文化体験教室
 1/24 (日) 中村、恩地、豊村
 KIFA と打ち合わせ 1/14 (木)
 (恩地)



●日本語教室の(M)は定例ミーティング

●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(12月)



会員の動き(12月)

	12/5	12/12	12/19
先生	19人	16人	12人
生徒	18人	15人	15人

(入会) 梁浩文さん (11/28 入会)
 梅景由美さん (12/5 入会)
 (休会) 小島裕子さん
 (退会) ボーエン典子さん (出産のため)
 尹佳さん (仕事のため)
 (賛助会員) なし



お知らせ

お知らせ

BNN 主催「外国人によるスピーチコンテスト」が開かれます。今年で 12 回目を迎え滋賀県在住または在勤、在学の外国人が日ごろの日本語学習の成果を発表する場を提供する大会です。

文化庁の補助で始まった「生活者としての外国人」のための日本語教育事業「生活向上に向けての日本語教室」も 1 月をもって終わりを迎え、その集大成として多文化共生シンポジウムが開かれます。

日時:平成 28 年 2 月 28 日(日)

日時:平成 28 年 2 月 7 日(日)

12:40~16:30

13:30~16:00

場所:野洲文化小劇場

場所:草津アミカホール

野洲市小篠原 2142

(電話:077-587-1950)

参加費:無料

参加費:無料

主催:

主催:草津市国際交流協会

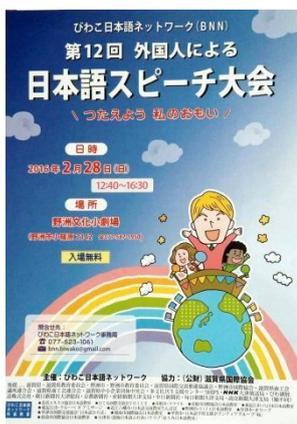
びわこ日本語ネットワーク

問い合わせ先:077-561-2322

問い合わせ先:077-523-1061

HP: <http://kifa-japan.org>

BNN 事務局



要付の目



「オリーブせまし」

「見学したいんですが・・・」と来られる先生志望の方。入会したいけど、知らない所、知らない集団に入っていき不安もある…人それぞれ温度差はあるとは思いますが、そんな中で、知ってる人がいたらホッとするのはないでしょうか。オリーブは小さな集団ですが、何と、偶然つながっていたということが割とあります。「偶然にも同じマンションの人がいた」「〇〇さんと知り合いだった」「昔一緒に職場で働いていた」「共通の知り合いがいた」など。そんな偶然で一気に壁が取っ払われた…見学の方の対応をしているとそんな風感じます。(小春)

編集後記

オリーブ通信のスタッフになった時、「私にできるのかしら?」…なんて思いながらのスタートだったけれど先輩の叱咤激励の声に押されながら、今では何とか一人で紙面作りもできるようになりました。最初から「できない!」なんて思いこまないで何事にも足を一歩踏み出してトライしようではありませんか。今年もよろしくお願いします。(S.E)

